



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.5.10 No. 4392

526 三里塚闘争に集う 東京集会

国家権力による一方的な農地強奪と軍事空港建設に反対してきた三里塚闘争は、今年、空港設置の閣議決定から三〇周年目を迎えます。この節目の年にあたり、五月二十六日、三里塚芝山連合空港反対同盟は、東京・両国公会堂において「三里塚三〇周年勝利、全国住民交流集会」を開催します。

三里塚三〇年勝利の地平

一九六六年七月四日の、佐藤内閣の閣議決定以来三〇年。空港絶対反対の旗を守り抜く、三里塚農民の闘いは、いかなる機動隊の暴力や空港公団の卑劣な切り崩し攻撃にも屈せず、二期工事を阻止しつづけています。しかも、政府権力をして、昨年八月の「七空整」(第七次空港整備五カ年計画)で、二期工事の破産を事実上認めざるおえないところまでおいこんでいます。もとより、政府・空港公団は二期工事を断念したわけではありませんが、三〇年間の不屈の闘いによって、完全空港化がうち砕かれ、成田空港建設という日本帝国主義のアジア侵略と侵略体制づくりにとって死活的領域をなす帝国主義的航空・運輸

政策に大打撃を与えています。いまこそ、三里塚闘争三〇年の勝利の地平をうち固め、空港廃止に完全勝利へ進撃するときです。

新たな出発点

もちろん、主催は三里塚反対同盟。協賛に、関西新空港反対住民、北富士忍草母の会、そして、わが勤労千葉、共同呼びかけ団体・個人として、女川原発設置反対期成同盟会、部落解放同盟全国連合会、全国反戦被爆者の会、そして、沖繩反戦地主の知花昌一さんをはじめ、全国の反戦・反核・反基地・反差別、住民運動、労働運動が名を連ねています。

反対同盟は、集会の招請状において「三里塚闘争は闘う人民の共闘の砦です、長期不況下の首切りと賃下げ、労働強化に対して勤労千葉を先頭に労働者の決起が始まりました。「住専」に象徴される政治の腐敗、沖繩に対する基地強奪と改憲にむかう危険な動きに人民の怒りが高まっています。人民の未来と空港廃止にむかう三里塚の勝利は、全国の闘いの発展のなかにこそあるのです。反対同盟はここに三里塚闘争の勝利と全国住民運動の大前進を期して集会を開催します」としています。

五・二六集会を新たな出発点に、勤労千葉全力決起で、労働連帯で鍛えた労働者魂をもって戦争と大失業の時代に、JR総連・革マル打倒、国鉄決戦勝利、安保・沖繩闘争への総決起、労働者人民の未来を切り拓こう！

5.25 狭山闘争入

一九六三年五月二三日、無実の石川一雄さん不当逮捕から三三カ年。

狭山闘争大復活運動を力強く前進させよう！不屈にたたかう石川一雄さんとともに、国家権力の新たな再審棄却攻撃をうちやぶり、狭山再審の実現をかちとろう！

五・二六三里塚東京集会の前日、部落解放同盟全国連合会の呼びかけによる、五・二五狭山中央闘争が開催されます。狭山再審闘争は、重大な正念場をむかえています。再審棄却をねらう国家権力は、石川一雄さんに「再収監」の恫喝をくわえ、狭山闘争への直接の介入、狭山闘争解体の攻撃をかけています。

国家権力は、石川一雄さんと全国連帯をはじめとするたたかう人々が合流し、狭山闘争が新たに発展すること、みずからの差別犯罪があげられることに自分たちの支配体制の危機を感じつついるのです。階級の兄弟として、部落の解放は労働者階級あたりまえの任務です。再審棄却策動粉碎、狭山闘争の歴史的勝利に向け闘い抜こう！

五・二五狭山中央総決起集会

日時 五月二十五日(土) 十三時
場所 八丁堀「労働スクエア」東京(旧勤労福祉会館)東京駅から徒歩十分
集合 千葉駅七番線十一時三九分快速最後部

五・二六三里塚全国住民交流集会

日時 五月二十六日(日) 十四時
場所 東京・両国公会堂
集合 両国駅西口改札前 十三時三〇分
千葉駅四番線十二時四九分快速最後部

各支部とも全力動員で結集しよう！